

札幌市産業振興ビジョンの全体構成（5/11版）

第1章 ビジョンの基本的な考え方

背景と必要性

- ・ 経済・社会環境が大きく変化し、全国的に景気が落ち込む中、北海道・札幌市経済も低迷しており、大変厳しい状況が続いている
- ・ 本市経済は人口増加に比例して成長してきたが、人口減少時代に入ろうとしている。
- ・ 様々な外的要因の変化にも対応できる、足腰の強い経済基盤を確立するため、中長期的な視点から、市民、企業、行政が共有する理念や指針を描き、今後札幌市が取り組むべき施策展開の方向性を表す「産業振興ビジョン」を策定する。

ビジョンの位置づけ

- ・ 「第4次札幌市長期総合計画」の方向性を踏まえた産業振興分野の今後の展開を示したものとする。
- ・ 札幌市中小企業振興条例に基づく総合的な施策とする。
- ・ 本ビジョンに基づき、各年度の予算における具体的事業を展開する

基本方針

- (1) 北海道経済の中心都市としての機能・役割の発揮
- (2) 札幌広域都市圏の中の札幌市としての方向性
- (3) 中小企業の創意工夫と自主的な努力の尊重
- (4) 産学官連携の促進
- (5) 国、北海道など関係機関との連携
- (6) 創造性を活かした産業の活性化

期間

平成23年度～32年度の10年間

第2章 札幌市産業の現状・課題

現状分析

1. 札幌市の経済動向
2. 人口構造
3. 産業構造
4. 都市機能の状況

課題

1. 人口減少と少子高齢化の進行への対応
2. 人材の流出と雇用情勢の悪化への対応
3. 「札幌型ものづくり産業」振興の必要性
4. 北海道の資源や札幌の都市機能など強みの活用

第3章 札幌市産業の目指す姿

基本理念

地域の魅力と人の活力が創り出すチャレンジ都市さっぽろ

目指す姿

- 地域資源を活かした創造性あふれるまち
- 中小企業の活気があふれ新しい時代を先導するまち
- 世界に羽ばたく企業が躍進する活力あふれるまち
- 人と企業が世界中から集まる魅力的なまち
- 個性的なまちづくりと産業が結びつき地域が賑わうまち

産業振興の最終目的

1. 雇用機会を確保・創造
2. 企業、就業者の収入増加
3. 魅力あふれるまちづくりの実現

第4章 産業振興施策の展開

施策展開に向けた視点

1. 道内経済循環の拡大

- ・ 道内企業の取引拡大
- ・ 道産品の域内消費促進

2. 道外需要の開拓

- ・ 道外市場の開拓
- ・ 観光産業を中心とした交流人口の増加による需要拡大

施策展開の方向性

- (1) 社会情勢の変化への対応
 - ・ 人口減少(市場縮小)への対応
 - ・ グローバル化への対応
 - ・ 高齢化への対応
 - ・ 地球環境問題への対応
- (2) 北海道・札幌広域都市圏の強みの活用
 - ・ 豊富な北海道の食資源
 - ・ 北海道・札幌の魅力を活かした観光
 - ・ プロスポーツや雪国の特性を活かしたスポーツ
 - ・ 世界に誇れる文化芸術
 - ・ 積雪寒冷地技術及び教育機関等の活用
 - ・ 農林水産資源や研究機関の集積を活かしたバイオ
 - ・ 地域特性を活かしたIT
 - ・ 北海道の魅力を活かした映像やデザイン等のコンテンツ
- (3) 中小企業の経営基盤強化
 - ・ 人材育成
 - ・ 多様な人材確保
 - ・ 融資制度の充実
 - ・ 経営、創業アドバイスの充実

札幌市経済のさらなる成長・発展に向けて

札幌市経済を牽引するエンジン

北海道の一次産品を活かした「食」

北海道・札幌の強みを活かした「観光」

次世代に引き継ぐ「環境」

産業のさらなる高度化のために

付加価値を高める「札幌型ものづくり」の振興

第5章 ビジョンの運用体制

- ビジョン策定後は、中小企業振興審議会をはじめ、市内中小企業者等の意見を踏まえながら、進行管理を行っていく。
- ビジョンは、10年間の中長期的な計画であるが、この間に大きな経済の構造変化が生じた場合は、柔軟にビジョンの内容を改訂する。その際は、札幌市中小企業振興審議会のほか、中小企業者等の意見を反映させて見直しを行う。